

文部科学省 マテリア先端リサーチインフラ 革新的なエネルギー変換を可能とするマテリアル領域シンポジウム

東京大学、広島大学、日本原子力研究開発機構は、令和4（2022）年度より本格的にスタートした文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ事業（ARIM）に参画し、3機関の5拠点が連携して重要技術領域：革新的なエネルギー変換マテリアルを担っております。ナノテクノロジープラットフォーム事業で培った共用事業の経験を発展的に継承し、ARIMではデータ科学に貢献する実験データの収集と活用に貢献いたします。本シンポジウムはこれら5拠点の取り組みをご紹介します。データ科学に基づく研究事例をご紹介します。産学官からどなたでもご参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】 2023年3月20日（月）14：00～17：10

【会 場】 東京大学武田ホール（オンラインハイブリッド）

※オンラインハイブリッドですがぜひ現地参加ください。

【参加費】 無料

【プログラム】

14:00 開会挨拶 幾原雄一 東京大学総合研究機構

14:05 来賓挨拶 江頭 基 文部科学省研究振興局参事官（ナノテクノロジー・物質・材料担当）

曾根純一 科学技術振興機構、文部科学省マテリアル先端リサーチインフラPD

第一部 革新的なエネルギー変換マテリアル領域の紹介

14:20 「革新的なエネルギー変換マテリアル領域の紹介」

幾原 雄一（東京大学ARIM代表者）

14:40 「エネルギー変換マテリアルの超微細構造解析～東大微細構造解析部門の取り組み～」

柴田 直哉（東京大学ARIM微細構造解析部門）

14:55 「Yes we can - 1000名の武田先端知スペースクリンルームで拓く新規エネルギー素子」

三田 吉郎（東京大学ARIM微細加工部門）

15:10 「未 定」

田浦 健次朗（東京大学ARIMデータ基盤部門）

15:25 「広島大学での半導体研究とCMOS集積回路・パワーデバイス試作クリンルーム」

黒木 伸一郎（広島大学ARIMナノデバイス研究所）

15:40 「SPRING-8 JAEA専用ビームラインの概要とエネルギー変換材料開発への取り組み」

矢板 毅（日本原子力研究開発機構ARIM物質科学研究センター）

15:55 休憩

第二部 装置利用とデータ活用による材料研究・プロセス開発の事例紹介

16:10 「シミュレーションデータの再活用 ～材料特性予測を例に～」

澁田 靖（東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻）

16:35 「水分解光触媒開発における電子顕微鏡の役割」

堂免一成（東京大学特別教授/信州大学特別特任教授）

17:00 閉会の挨拶 高橋浩之（東京大学ARIM）

17:10 閉会

【お申込み】 <https://forms.gle/bma1a5iGcfxm89B76>

※事前登録制 定員となり次第、申し込みを締め切ります

【主 催】 東京大学 広島大学 日本原子力研究開発機構

【共 催】 東京大学ナノシステム集積センター

問い合わせ info@arim.t.u-tokyo.ac.jp